

CSR 検定 3 級第 12 回試験（2021 年）問題 正答

問題 1 次の文章の空欄に該当する語句で、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 1.2 SDGs とサステナビリティ経営

問題 2 次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：イ（CSR と経営は切り離して考えるべきではない）

公式テキスト：Chapter 1.1 CSR の目的と領域

Chapter 1.7 ISO26000 とは何か

問題 3 「SDGs」に関する次の記述で、適切なものはいくつあるか。

正答：ウ（2 が不適切、MDGs は開発途上国を対象としている）

公式テキスト：Chapter 1.2 SDGs とサステナビリティ経営

Chapter 4.3 世界の貧困と児童労働

問題 4 次の文章の空欄に該当する語句で、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 1.3 世界の CSR をめぐる動き

Chapter 2.2 社会における企業の役割はどう変わってきたか

問題 5 次の文章の空欄に該当する語句で、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 1.7 ISO26000 とは何か

問題 6 次の文章の空欄に該当する語句で、最も適切なものを一つ選べ。

正答：エ

公式テキスト：Chapter 1.7 ISO26000 とは何か

問題 7 日本の「大企業と中小企業のCSR」に関する次の記述で、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ（ア：全国すべての自治体ではない ウ：赤字経営では免除されない エ：大企業ではなく中小企業に関する記述）

公式テキスト：Chapter 1.4 大企業と中小企業の CSR

Chapter 1.10 自治体の CSR・SDGs 政策

問題 8 業界団体の会合で「コンプライアンス」について意見交換しています。ISO26000の理念に照らし、適切な発言をしている会社はいくつあるか。

正答：ア（D 社の発言が適切／A 社：コンプライアンス教育は必要である B 社：コンプライアンス問題は起きうる C 社：委託先工場でのコンプライアンス問題は影響がある）

公式テキスト：Chapter 1.5 コンプライアンスの本質

Chapter 1.7 ISO26000 とは何か

Chapter 2.2 社会における企業の役割はどう変わってきたか

問題 9 「企業のコンプライアンス」に関する次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア（法令順守は狭義のコンプライアンスの領域である）

公式テキスト：Chapter 1.1 CSR の目的と領域

Chapter 1.5 コンプライアンスの本質

Chapter 2 COLUM 3 法と CSR

問題 10 「企業のCSRレポート」等に関する次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ（CSR レポート作成は義務付けられてはいない）

公式テキスト：Chapter 1.6 企業の CSR レポートの役割と現状と課題

問題 11 CSR担当部署でCSRレポートについて議論しています。最も不適切な発言をしている社員は誰か。

正答：イ（マイナス情報も載せるべきである）

公式テキスト：Chapter 1.6 企業の CSR レポートの役割と現状の課題

問題 12 「サステナブル投資」に関する次の文章の空欄に該当する語句で、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 1.9 サステナブル投資と ESG

問題 13 「国連グローバル・コンパクト（UNGC）」に関する次の文章の空欄に該当する語句で、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 1.8 国連グローバル・コンパクトとは何か

問題 14 「企業とは社会においてどんな存在か」に関する次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：イ（企業行動憲章を改訂したのは、日本政府ではなく、経団連である）

公式テキスト：Chapter 1.2 SDGs とサステナビリティ経営

Chapter 2.1 企業とは社会においてどんな存在か

問題 15 「ステークホルダー」に関する次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ（重要事項も含むべきである）

公式テキスト：Chapter 2.3 企業にとってステークホルダーとは何か

問題 16 「ステークホルダー」に関する次の文章の空欄に該当する語句で、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：イ

公式テキスト：Chapter 2.3 企業にとってステークホルダーとは何か

問題 17 次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ（狭義のコンプライアンスも広義のコンプライアンスも重要である）

公式テキスト：Chapter 2.2 社会における企業の役割はどう変わってきたか

Chapter 2.4 企業に求められる必要な対話力とは

問題 18 「トリプルボトムライン（TBL）」に関する次の文章の空欄に該当する語句で、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 1.6 企業の CSR レポートの役割と現状と課題
Chapter 2.6 トリプルボトムラインとは何か

問題 19 「日本の NPO」に関する次の記述で、適切なものの組み合わせを一つ選べ。

正答：ア（1 と 2 が適切／3：活動分野の制限は撤廃されていない 4：企業と NPO が協働することは難しくなく、積極的に協働すべきである）

公式テキスト：Chapter 2.8 企業の社会貢献と寄付
Chapter 3.2 NGO/NPO とはどんな存在か
Chapter 3.3 企業と NPO が協働する意味とは

問題 20 「企業と人権」に関する次の記述で、適切なものはいくつあるか。

正答：イ（1 と 2 が不適切／1：日本は 2014 年に障害者権利条約に批准している 2：国連「ビジネスと人権に関する指導原則」は企業に「人権尊重」を求めている）

公式テキスト：Chapter 1.5 コンプライアンスの本質
Chapter 2.9 企業と人権
CSR 検定アップデート

問題 21 「日本の消費者」に関する次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア（消費者は権利の尊重とともに責務も負う）

公式テキスト：Chapter 2.5 消費者重視経営とは
Chapter 3.6 SDGs と消費行動

問題 22 日本の「社会とつながる働き方」に関する次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ（副業を認める企業は増えると言われている）

公式テキスト：Chapter 3.1 真価が問われる「社会とつながる働き方」
CSR 検定アップデート

問題 23 「ワーク・ライフ・バランス（WLB）」に関する次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 3.4 ワーク・ライフ・バランスとは何か

問題 24 次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：イ（「障害者白書」では、身体障がい者、知的障がい者に加え、精神障がい者の 3 つに区分されている）

公式テキスト：Chapter 2.7 社会課題と SDGs
Chapter 3.4 ワーク・ライフ・バランスとは何か
Chapter 3.5 ダイバーシティ&インクルージョンとは何か
Chapter 4.8 障がい者雇用

問題 25 下記の中で、コフィー・アナン元国連事務総長に最も関係するものを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 1.8 国連グローバル・コンパクトとは何か

問題 26 次の文章の空欄に該当する語句で、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 1.8 国連グローバル・コンパクトとは何か

Chapter 4.3 世界の貧困と児童労働

問題 27 下記の中で、江戸時代の思想家・石田梅岩に最も関係するものを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 1.COLUMN 1 伝統的な日本型 CSR の精神

Chapter 2.1 企業とは社会においてどんな存在か

問題 28 下記の中で、英国サステナビリティ社のジョン・エルキントン氏に最も関係するものを一つ選べ。

正答：ウ

公式テキスト：Chapter 2.6 トリプルボトムラインとは何か

問題 29 下記の中で、最も適切なものを一つ選べ。

正答：エ

公式テキスト：Chapter 1.7 ISO26000 とは何か

Chapter 1.9 サステナブル投資と ESG

Chapter 2.9 企業と人権

Chapter 4.1 グローバルな気候変動交渉の動き

問題 30 「プロボノ」に関する次の記述で、最も適切なものを一つ選べ。

正答：エ

公式テキスト：Chapter3, COLUMN5 「プロボノ」とは何か

問題 31 「グローバルな気候変動の問題解決」に関する次の記述で、適切なものはいくつあるか。

正答：ウ（4 が不適切／フルオロカーボン・イニシアティブを主導したのは日本政府）

公式テキスト：Chapter 4.1 グローバルな気候変動の動き

問題 32 「生物多様性」に関する次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ（「社会資本」ではなく「自然資本」である）

公式テキスト：Chapter 4.2 生物多様性

問題 33 「エシカルなビジネス」に関する次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ（「企業」の力ではなく、「消費者」の力）

公式テキスト：Chapter 4.4 エシカルなビジネス

Chapter 4.10 海洋プラスチックごみ問題

問題 34 「オーガニック/有機農業」に関する次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア（遺伝子組み換え技術の利用については容認していない）

公式テキスト：Chapter 4.6 オーガニック/有機農業

問題 35 次の記述で、適切なものの組み合わせを一つ選べ。

正答：エ（1 と 3 が不適切／1：自然エネルギーの割合 100%ではなく、大幅に拡大することを目指す 3：「EV100」ではなく「RE100」）

公式テキスト：Chapter 4.7 自然エネルギーと RE100

問題 36 「ソーシャルビジネス」に関する次の記述で、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ（CRMではなく、CSV（共有価値の創造）が正しい、CRMは寄付付き商品などを意味する）

公式テキスト：Chapter 4.9 ソーシャルビジネス

問題 37 次の文章の空欄に該当する語句で、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：イ

公式テキスト：Chapter 4.3 世界の貧困と児童労働

問題 38 「海洋プラスチックごみ問題」に関する次の文章の空欄に該当する語句・数字で、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 4.10 海洋プラスチックごみ問題

問題 39 スーパーのサステナブル部の社員が、「養鶏方法に関わる動物福祉（アニマルウェルフェア）」について議論しています。SDGs の理念に照らして、適切な発言をしている社員の組み合わせを一つ選べ。

正答：ウ（社員 A と社員 C が適切／B：ケージフリーを宣言する企業は増えており、消費者も支持するため、単なるコスト増ととらえてはならない D：餌の内容の改善やケージの衛生環境の見直しではアニマルウェルフェアには対応しているとは言えない）

公式テキスト：Chapter 4.11 アニマルウェルフェア

問題 40 「LGBTQ とは」に関する次の記述で、適切なものはいくつあるか。

正答：エ（すべて適切）

公式テキスト：Chapter 4.12 LGBTQ とは